

住吉区地域福祉ビジョン総括表

【例】

	ビジョンにおける理想の状態 (到達目標)	現状到達状況	委員評価		次期ビジョンの修正事項 加えるべき事項
			評価コメント	評価	
(1) みんなが支え合う豊かなコミュニティづくり					
① 地域ごとの小地域福祉計画づくり					
A 地域座談会等の開催支援	<p>・増進型地域福祉の考え方を取り入れた課題の話合いから理想とする状態の実現に向け、地域の多様な主体が話し合う地域座談会を開催</p> <p>・対象:南住吉・山之内・清水丘</p> <p>・地域の課題解決策・地域福祉推進策を地域の多様な主体が集まり話し合える場の定着をめざしていく。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で、令和3年4月25日大阪府に緊急事態宣言が発出をされ、延長を繰り返しつつ9月30日まで緊急事態宣言が出されていた。また、令和4年1月27日からまん延防止等重点措置が3月21日まで発出された。</p> <p>・地域座談会は、地域の多様な主体が参集し、地域の課題やニーズ、そして理想の姿を話し合う場であり、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発出されている状況下では開催できなかった。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、宣言解除後速やかに動けるように地域座談会検討チーム会議を開催し、各地域へのアプローチについて確認して進めてきた。</p> <p>・3月24日、東粉浜地域において地域座談会コアメンバー会議を開催。令和元年度開催した地域座談会での議論に基づき、地域の子どもの顔が見えるイベント“ハロウィンナイト”の実施に向け検討が進められており、令和4年10月末実施に向け実行委員会を立ち上げていくことが確認できた。</p> <p>・山之内地域からは、地域の活動団体だけでなく地域の多様な主体を巻き込んだまちづくりを進めていくうえで地域座談会の開催が必要とのご意見をいただいております。令和4年度、感染状況を見極めたうえで早い段階での座談会開催を行っていくこととする。</p>			
B 小地域福祉計画の支援	<p>・策定に向けた議論を開始し、1地域において小地域福祉計画の素案を策定</p> <p>対象:墨江・苅田・長居・東粉浜・苅田南</p>	<p>・小地域福祉計画は、地域座談会で出された地域の課題やニーズ、さらには地域がめざす理想の姿の実現に向けた取り組みを小地域福祉計画(ビジョン)として策定するものです。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で、令和3年度内は緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発出されていたため、参集形式での地域座談会が開催できなかった。</p> <p>・そうした状況下ではあるが、墨江地域では毎月開催される墨江地域福祉会議(地域のコアメンバーと包括、専門職等が参加し、地域福祉について話し合われる場)において、地域福祉ビジョンの策定について話し合わせ、11月12日に開催されたケアマネ交流会で地域の役員・活動者とケアマネ等で地域の課題や地域のめざすべき理想の姿について話し合われた。ケアマネ交流会の議論を受け、引き続き地域福祉会議で地域課題の解決や理想の姿実現への取り組みについて話し合わせ、「墨江地域福祉ビジョン」の骨子を取りまとめられた。</p>			

評価:A…目標を上回る実績があった
 B…目標が達成できた
 C…目標が達成できなかった